



みんなで作る

ふれあいの大屋根

“滝沢村交流拠点複合施設”

住民が集う場として、大屋根の下、麓に出来た集落のように顔を出す様々な交流施設がにぎわいをつくれます。

ROOF NEWS Vol.3

※屋根の英単語 ROOF をとり、タイトルとしました。

H25.2.15 発行 滝沢村（交流拠点整備室）

ROOF1 検討ワークショップ（第2回全体会）が開催されました

滝沢村の鶴飼地区に計画されている、交流拠点複合施設の検討ワークショップ（第2回全体会）を滝沢村公民館の視聴覚室を会場に1月23日に開催しました。

今回は、図書館部会、ホール部会、コミュニティ部会それぞれの作業部会が検討してきた内容を踏まえた案が提示され、それについて全体で協議したものです。

ROOF2 ワークショップのかたち（全体会と作業部会）

前回の第3回ワークショップでは各作業部会でH案（活動室をまとめて配置した案）とI案（活動室を分けて配置した案）について比較検討を行いしたが、その案の進化案J案について各部会に別れ検討し、その後各部会から発表し、最後に先生方から講評をいただくことで、作業部会間の意思疎通と全体の整合を図ることにしたものです。

ROOF3 第2回全体会の検討ワークショップ概要

始めに事務局からこれまでの検討経過の確認、図書館やホールの事例他資料の説明があり、その後新たな配置案であるJ案の説明を（株）三菱地所設計が行いました。

J案では、支持が多かったH案を元に、細長いとの指摘があった図書館の巾を広くし、また、事務室周りや2階スペース（1階室の天井）を活用し、市民活動がしやすい形になっています。また、兼ねてより改善要望の強かった駐車場の半地下をやめ、周辺駐車場の利用や進入のしやすさやバスレーンの確保なども併せて行われています。

三菱地所設計がコーディネーターとなり各作業部会ごとに意見交換を行い、岩手大学生がそれをポストイットに書き出し、コーディネーターである岩手大学の三宅先生がその内容を整理していきました。

その後、整理された模造紙を見ながら、各部会から発表があり、三宅先生から出された意見をどう検討し、どう設計に反映させていくかについてまとめていただき、最後に岩手県立大学の狩野先生から講評をいただきました。



ワークショップの様子



ワークショップの様子
（ホール部会）



ワークショップの様子
（図書館部会）

ROOF4 ワークショップ結果概要

ホール部会

大会議室はホールや小ホールの控え室として有効利用したい。平土間利用のため可動椅子を使うが、エアキャスター（設計者からの提案の1つで、椅子を分割配置できるの）であれば、いろいろなイベントに対応でき、大きな売りになるのではないかと。平土間は、県の展示会や就職ガイダンスなどにも活用できるかもしれない、などの意見が出されました。

図書館部会

自習スペースについては、必ずしも図書館内にある必要は無く、2階スペースも検討。会議室の多目的利用としては、ミニシアターを行えるスクリーンの設置。図書館は滞留時間が長く、飲食できるスペースの確保。床暖の効果的配置、新聞・雑誌スペースを図書館の外の交流スペースに出す案、音を許容する場所・制御する場所の検討、などの話がありました。



検討ワークショップの様子
(コミュニティ部会)

コミュニティ部会

巾の広い階段について、座って話ができて良いという意見や子どもが迷子にならないかといった意見。学生の溜まり場を不安視する声があるが、溜まり場になることはいいこと。有料スペースと無料スペースで人の出入りを管理できる。図書を持ち出し範囲を広げられると2階の利用範囲が広がる。図書館外に雑誌コーナーやW i f i 環境があると利便性が増す。などの意見がありました。

ROOF5 まとめと講評

岩手大学の三宅先生からのまとめとして以下のお話がありました。

限られた面積の中で、図書館の広さの確保については、2階部分の活用がポイント。また和室についても、その用途の洗い出しや、会議室の多目的利用を考慮する必要がある。併せて、可動式畳を利用するなら、倉庫の配置も一緒に検討すること。図書館で中会議室などを使う場合は、その利用のしかたや利用頻度を考慮する。

また、部員の意見として、2階は視線が通るとお互いに見る見られるの関係で活動が活性化し、若者の溜まり場になることで建物は活力が出る、トイレの位置は奥まっていないか、大階段や飲食の場所など今後検討が必要、などが出ました。

最後に岩手県立大学の狩野先生より、難問であっても設計者と部員が知恵を出し合えば解決できる、など講評を頂き、閉会となりました。



三宅先生による意見の調整

ROOF7 今後の進め方

2月から4月にかけて基本設計を固めていきます。

ホール部会では、ステージ、座席、楽屋等といった個別の内容、音響・照明などについて、図書館部会では、図書館内のゾーニング、レイアウト、部屋の仕様など、コミュニティ部会では、それ以外の各室の仕様などについて検討していきます。また、外部の駐車場、造園設計なども併せて検討し基本設計案を作成します。



狩野先生の講評

ROOF8 まとめ

J 案を元にさらに改善していくこととなりました。今後も作業部会を行いながら、検討過程を ROOF NEWSでお知らせしていきますので、よろしくお願いいたします。